

免疫のお話『アナフィラキシー』編

アナフィラキシーが起こったときの対処

＜ アナフィラキシーとは ＞

- ・原因物質が体内に侵入後、5～30分で全身に症状が出る強いアレルギー反応のこと
- ・食品、ハチ毒、医薬品、ラテックス（天然ゴム由来の成分）などが原因で起こることが多い
- ・重度（ショック状態）の場合、放置すると死に至ることがある

アナフィラキシーが
起こった…

＜ 症状（複数同時にみられます） ＞

- ・体中に赤み、ぶつぶつが出る
- ・くしゃみや強い咳が出る
- ・顔が青白くなり、立ってられない
- ・ゼーゼーする呼吸
- ・腹痛、吐き気 など

救急車を
呼ばない場合

救急車を
呼んだ場合

医薬品の
エピペンを使用



アナフィラキシー症状が
少し回復

アナフィラキシー症状が
少し回復

その場で
安静にする

救急車で
病院へ搬送



医師の診察・治療を
受けることが**できない**

医師の診察・治療を
受けることが**できる**

再びアナフィラキシーが
起こったら**対処できない**

再びアナフィラキシーが
起こっても**対処できる**
(または、再発を回避できる)

アナフィラキシーは、医薬品のエピペンを使用した後でも、再び起こることがあります。エピペンは、あくまで病院へ搬送するまでの時間を稼ぐためのものです。そのため、エピペンを使用した後は**すぐに救急車を呼び、病院へ搬送する**必要があります。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
2月16日(水) 12時35分～13時10分

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 南平沙和香

